

日本語教室の親睦会夏祭りが開かれました 外国人の笑顔あふれる盆踊りは奏でる未来！

奈須野育美（日本語教室部会）

恒例の「親睦会夏まつり」が8月24日(土)サンロード津田沼6階の大会議室、および京成津田沼駅前広場の盆踊り会場で開催されました。外国人学習者とその家族や友だち(8か国/58名)、ボランティア、支援者合わせて合計89名の方が参加してくださいました。外国人学習者はほとんどの方が浴衣着用を希望しました。フィリピン国籍の学習者は会社の同僚を引き連れて登場！10名近くの女性が瞳を輝かせて浴衣を選び、着付けを終えて「大満足！」カップルやご夫婦の方々は初めて見る相手の浴衣姿に「うっとり？」中には家族みんなで浴衣を着て「夢がかないました。ありがとう！」と言ってくれる方も。写真を撮り合ってSNSにアップしたり、国の家族に送ったり。「写真を撮りましょうか？」と声を掛け合うことで、新たな友だちができていました。

お菓子やおにぎり、サンドイッチなどの軽食を取りながら歓談した後、吉野会の皆さんの指導の下、大きな輪を作り盆踊りの練習。参加者たちは「フウ〜♪」という声上がるほどりノリノリで楽しんでいました。

夕刻、京成津田沼駅前広場の盆踊り会場へ移動。宮本市長や主催者からも、国際交流

協会の会員はじめ外国人の方々が多く参加する国際色豊かな盆踊りが、この夏まつりの特徴だと言っていました。古きよき盆踊りに国際色が加わり新しい形で繋いでいく。まさに習志野市の奏でる未来を感じました。

そんな楽しい時間の中で1点だけ心残りのことがありました。それは男の子の甚平や浴衣が足りず、息子に浴衣を着せたい親御さんの気持ちに伝えてあげられなかったことです。皆さん、ご自宅に眠っている甚平や浴衣がありましたら是非！NIAにご寄付いただくと幸甚です。NIA事務局で随時受け付けています。来年はもっと多くの外国人の方と私も浴衣を着て楽しみたいと思います。



京成津田沼駅前盆踊り会場で踊りました